

兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS

No.18 2012.1

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。



謹んで新春の

お慶びを申し上げます



旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年も昨年同様よろしくお願ひ申し上げます。
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
平成二十四年 元旦

「絆」で結ばれた地域へ

内藤 兵衛

兵庫県議会議員
自民党県議団副幹事長

皆様にはご家族おそろいで、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

人々が「絆」という言葉に心を託したことを、うれしく思いました。

さて、昨年末、「今年の漢字」(日本漢字能力検定協会発表)が応募者多数で「絆」に決まったのは皆様ご承知の通りです。以下、「災」「震」「波」と続き、いずれも東日本大震災を反映していますが、多くの

年頭にあたり、今後とも皆様とともに、安全安心で絆で結ばれたやすらぎあふれるまちづくり、真摯に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます。

2面に内藤県議の「抱負」を掲載。ぜひご覧下さい

公職選挙法により年賀状等のあいさつが禁止されております。ご理解のうえ、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

安全安心のふるさとづくりへスクラム

市長、町長から連携メッセージ

多くの県事業が進展

西脇市長 來住 壽一

ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年辰年。中国の漢書では「動いて伸びる」「整う」の意味とされ、草木が盛んに成長し整った状態を表すとか。語源どおり暮らしや経済が成長する一年になりますことを願わずにはいられません。

西脇市も、台風12号で大きな被害を受けました。近年、予測できない自然災害が多発しますが、出来る限りの支援を行ってまいりたいと存じます。

西脇市も、台風12号で大きな被害を受けました。近年、予測できない自然災害が多発しますが、出来る限りの支援を行ってまいりたいと存じます。

西脇市も、台風12号で大きな被害を受けました。近年、予測できない自然災害が多発しますが、出来る限りの支援を行ってまいりたいと存じます。

災害復旧にも全力投球！

西脇市、多可町のまちづくりの先頭に立つ内藤県議に、西脇市長、多可町長からメッセージが寄せられました。葉をいただきました。



新年あけましておめでとございます。昨年、東日本大震災の発生など、まさに国難続き……。

多可町長 戸田 善規

多可町も台風12号による大水害に見舞われ、大変な被害が出ました。その意味でも、新年が「安心・安全の年」となることを強く願います。

内藤県議には災害復旧においても大変お世話を焼いていただき、感謝しております。一刻も早い復旧復興に向けてのご努力をいただいております。

内藤県議とは、多可町は内藤県議との連携の中で、大きな成果を挙げてきています。ソフト分野の「絆社」の益々のご活躍を祈っております。

内藤兵衛県議の益々のご活躍を祈っております。

話になった。多可町当局とともに、『道路整備(地域振興)とシカと絆』…かねてより絆の重要性を研究し、常に先頭に立って訴え続けているのが彼であります。そんな内藤県議に皆さんの更なるご支援をお願い申し上げます。

被災総額が20億円を超え、被災箇所が1千件を数える未曾有の大災害です。会の維持・復活は、少子高齢社会を迎えるに当たっての最大課題であり、地域の命題です。内藤県議といえは、『道路整備(地域振興)とシカと絆』…かねてより絆の重要性を研究し、常に先頭に立って訴え続けているのが彼であります。

北はりまハイランド構想から「ハートランド」へ展開

内藤県議が語る明日の地域

あけましておめでとうございます。新年を迎え、内藤兵衛県議員に明日の地域づくりについてお話をうかがいました。

交流と安全の基盤づくりを

共通点が多い西脇と多可

豊かな暮らしへ共に歩む

かねてから提唱してきた「北はりまハイランド構想」は、現在、「ひょうごのハートランド」として北播磨地域ビジョンに位置づけられている。また西脇市と多可町の「北はりま定住自立圏構想」も進められている。兵庫県のほぼ中央にある西脇市と多可町は、自然や医療・福祉、農業、産業、交通など数多くの共通点や課題があるからこそ、こうした施策に取り組むことができる。これが強みであると考えます。



自民党県議団幹事長室にて。左から、原テアキ副幹事長、石堂則本幹事長、秘書（中央2人）、野間ひろし副幹事長、内藤兵衛副幹事長

この強みを生かして、交流人口を増やしていくことが地域づくりの要となる。文化や伝統、おいしくて安全な農産物を内外に発信する。シカ肉もそうです。公害のない企業・工場を誘致して、都市圏からの通勤を促すとともに地域住民の働く場を増やす。こうして交流人口を増やしていくことで、地域の魅力がさらに高まっていく。これを支える道路や河川などの基盤整備は不可欠。診療所や病院も近くなり、減災を視野に入れて整備し、安全なまちをつくる。安全安心と便利さを加味することで暮らしたと心を豊かにし、ふるさとを誇りに思う絆が生まれる。西脇市、多可町の皆様とともに、このよう

なふるさとづくりを進めていきたい。ご支援をお願い申し上げます。

内藤ひょうえ兵庫を衛(まも)る

Photo Report



「災害に強い森づくり」をテーマに加美プラザで第3回林業研修会を開催。講演に先立ち趣旨を説明



西脇警察署の年末特別警戒発隊式に参加
平成24年度予算編成で、自民党執行部が当局から概要の説明等を求める与党連絡会議を開きました



西脇小学校4年生3クラス計103名の児童が議場見学。内藤県議の質問に活発に答えてくれました



建設常任委員会で与布土ダム（朝来市）を視察。現政権の「コンクリートから人へ」を受けて、中止が危ぶまれましたが、自民党県議団の強い要請で事業が継続されました

西脇市「旬菜館」広場で第2回巻きずしサミット。8グループにエールを送りました



ベルディーホールで開かれた平成23年度多可町「女性のつどい」。家庭と地域の絆について持論を語りました



八千代区俵田の市民型農園「フロイデン八千代」の収穫祭



西脇市日野地区を縦断している杉原川総合整備検討委員会の立ち上げで挨拶

発行 兵庫県議会議員 **内藤ひょうえ** 事務所
 県政への **TEL.0795-23-0417 FAX.0795-23-0418**
 ご意見は **〒677-0016 西脇市高田井町341-1**
 お気軽に
 ●ホームページ <http://www.naito-hyoe.net/>
 折々の考えや思いを綴ったブログを掲載しています。ぜひご覧ください



内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- 昭和33年9月14日 多可郡中町（現多可町中区）生、53歳
- 中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- 私立天理高校卒業
- 国立大阪大学法学部卒業
- 昭和57年、総合商社(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- 平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- 産業労働、建設、総務、農政環境各常任委員会委員
- 自民党県議団政調副会長、同副幹事長
- 家族：母、妻、一男
- 趣味：読書、スポーツ
- 好きな言葉：一日生涯